

和泉市久保惣記念美術館の成り立ちと現在 — 収蔵作品を中心に —

和泉市久保惣記念美術館 館長 河田昌之氏

火曜午餐会・2月第2例会を、16日、当部5階大会議室で開催した。講師の大阪芸術大学教授・和泉市久保惣記念美術館館長の河田昌之氏は、所蔵品を写真と共に丁寧に説明、「久保惣記念美術館に来られた方は皆様大変喜ばれます。奈良からは少し遠いですが、車だと便利なので是非お越し下さい」と語った。講演要旨は次の通り。

和泉市久保惣記念美術館

「久保惣」は、和泉市で約100年にわたり綿業を営み継承してきたが、1977年に繊維産業の衰退とともに廃業。国宝、重要文化財を含む約500点と土地、建物を運営基金等と共に地域文化の発展と地元への報恩の意を込めて和泉市に寄贈し1982年に開館した。1998年には5人目の代表者久保恒彦氏の寄贈により新館が開館。所蔵品は約11,000点、敷地5,000坪。

コレクションの全体像

初代久保惣太郎氏は美術品購入の基礎を作り、二代惣太郎氏は茶道具収集と茶室建築、忠清氏は墨蹟、矢立収集、三代惣太郎氏は書画、陶磁器、金工品収集と美術館寄贈、五代恒彦氏は美術品・美術館新館寄贈と、久保家歴代の方々が「地域文化の育成」で地元に貢献したいと寄贈されたものと他のコレクターの寄贈品。

茶室と音楽ホール

茶室の「惣庵」は表千家不審庵の写し、「聴泉亭」は表千家残月亭の写しとして建築（有形文化財）。音楽ホール（120席）は、出演者にも大変人気がある。

収蔵作品紹介

【第1次久保惣コレクション500点】
〈国宝2点〉①国宝 青磁鳳凰耳花生 銘「万声」（中国・南宋時代）

②国宝 歌仙歌合（平安時代）（料紙装飾の飛び雲の描写が特徴）
〈重要文化財28点の中から14点他〉
①貫之集下断簡（藤原定信筆）②熊野懐紙（藤原範光筆）③頌古 一山一寧墨跡④十王経図巻（中国）⑤伊勢物語絵巻⑥駒競行幸絵巻⑦枯木鳴鶴図（宮本武蔵筆）（動いている虫を狙うモズの目力、緊張感が、武蔵の兵法書「五輪書」に通じる）⑧達磨図（清拙正澄賛）⑨黄瀬戸立鼓花入 銘「旅枕」⑩唐津茶碗 銘「三宝」⑪響銅水瓶⑫胎蔵界八葉院曼荼羅刻出龕⑬青銅菊花双鶴文鏡⑭青銅蓬萊図方鏡

富岡鉄斎の画3点「寿老人像」「松鶴群聚図」「秋景山水図」
【第2次久保惣コレクション1,900点】
モネ、ルノワール等西洋美術を取り入れた。

【第3次久保惣コレクション600点】
江口次郎コレクション（古代から近代の中国青銅器や工芸品）

【第4次久保惣コレクション約6,000点】

庶民が楽しめる江戸絵、上方絵など浮世絵版画。・富嶽三十六景（葛飾北斎）・東海道五十三次（歌川広重）・牛若、弁慶（長谷川貞信）

【第5次久保惣コレクション320点】

オランダ等で制作された16、17世紀のブラウ、オルテリウス作の世界の古地図。

【第6次久保惣コレクション】
源氏物語 関屋「伊年」

印（俵屋宗達）

【他のコレクターの寄贈】

〈林宗毅氏寄贈〉中国近代書画コレクション400点
〈江川淑夫氏寄贈〉中国古代帯鉤・金工品200点

普及活動

2007年から「文化芸術科学ふれあい体験」として、「本物」がもつ力を発見する事を目的に和泉市内の小学6年生約2,100人を対象に市の教育委員会と共同で実施。学芸員が作品を説明し、児童が作品をスケッチ、「美術を観る力」を養い、美術を通して「文化」を未来に繋いでいく活動を行っている。

所在地：大阪府和泉市
内田町3丁目6番12号

